

令和5年度協議会事業案（総括表）

R1			R2			R3		
国（文化庁／100％）（11,500千円）			国（文化庁／100％）（16,394千円）			国（文化庁／100％）（11,000千円）		
・ガイド養成 ・ガイド養成フォーラム開催 ・副読本の作成			・ガイド養成 ・食文化活用普及啓発イベント ・デジタル資料館の作成			・ガイド養成 ・地域を思ふヒトづくり（実務者研修） ・次世代伝承 ・「地域のお宝」活用促進イベント ・ツアー・コンテンツ造成 ・他の日本遺産との連携		
国（文化庁／65％）（6,280千円）			国（文化庁／65％）（6,274千円）			国（文化庁／65％）（5,000千円）		
・イラストマップの作成（市町版） ・炭鉄港カードの作成			・炭鉄港カードの作成（第2弾） ・動画「炭鉄港の証言」の作成			・ポータルサイトの構築 ・小樽を拠点とした情報発信		
道独自事業（3,753千円）			道独自事業（7,184千円）			協議会単独事業（250千円）		
・提案実践事業 ・ロゴマーク作成 ・出前授業 ・教職員向けバスツアー ・実務者研修会in室蘭 ・イラストマップの作成（全体版） ・映画コラボキャンペーン			・提案実践事業 ・共通デザインタペストリーの作成 ・鹿児島相互交流 ・土産品開発 ・旅行商品造成 ・炭鉱の記憶マップの制作 ・コロナ対策啓発ポスターの制作 ・現地プロモーションの実施			・炭鉄港カードキャンペーン事業		
R1年度 事業費計 21,533千円			R2年度 事業費計 29,852千円			R3年度 事業費計 21,965千円		
						(3,090千円は繰越未執行)		

R4			R5（案）		
国（文化庁/100％）R3繰越（3,090千円）			国（文化庁／65％）（2,000千円）		
・ツアー・コンテンツ造成 ・日本遺産相互連携			・滞在コンテンツ整備☑ ・周遊促進イベント		
国（文化庁／65％）（2,000千円）			国（観光庁／85％）（6,000千円）		
・ガイド付きミニツアー造成 ・ガイド養成講座			・炭鉄港体験コンテンツ整備 ※AR及び多言語解説等 ※多言語対応ガイド養成		
国（観光庁／85％）（7,000千円）			国（文化庁／100％）（15,000千円）		
・炭鉄港めし活用事業 スタンプラリー レシピコンテスト パンフレット制作 イベント参加			日本遺産魅力増進事業☑ ・日本遺産相互連携 ・炭鉄港めしイベントの開催 ・スルーガイドの育成、ガイド整理		
協議会単独（570千円）			協議会単独（1,000千円）		
・炭鉄港カードキャンペーン事業 ・他の世界遺産・日本遺産との連携			※予備費を含む ・炭鉄港カードキャンペーン事業 ・日本遺産連盟、フェスの参加		
道独自事業（3,743千円）			道独自事業（5,462千円）		
・JRヘルシーウォークとの連携 ・出前講座 ・教育旅行誘致 ・構成市町小中学生の交流事業			・JRヘルシーウォークとの連携 ・出前講座 ・SDGs×炭鉄港教育機関向け パンフレット制作（教育旅行誘致） ・教育機関との連携		
R4年度 事業費計 16,403千円			R5年度 事業費計 29,262千円		
			※ R5事業及び予算額は当初要望ベース		